

# 広報 いちのせき

平成19年

3.15 No.36



## 風を切り裂き記録に挑戦

第1回一関市民スキー大会(市スキー協会など主催)が2月25日(日)、まつるペス<sup>1000</sup>ランドを会場に開催されました。

スキーとスノーボードの大回転に、小学生から成人までの男女81人の選手がエントリー。晴天、微風と絶好のコンディションの中、選手たちは24の旗門を設けた全長約800mのコースに果敢にアタックし、タイムを競っていました。

### 主な内容

- 施政方針  
..... P 2～7
- 教育行政施策の概要  
..... P 8～9
- お知らせ  
..... P 11～12

# 活力あるまちづくりへの歩みを着実に進める年に

浅井市長は、2月20日開会した第10回市議会定例会本会議で、平成19年度の施政方針演説を行いました。今回は、その全文をお知らせします。

第10回市議会定例会の開会に当たり、平成19年度の施政の方針を申し上げます。

本年度は、新しい地域づくり・まちづくりに向けて一関市が誕生し、はや3年度目を迎えます。

私は、平成19年度は、住みよい、活力あるまちづくりへの歩みを弛むことなく、力強く着実に進めてまいらねばならない年度ととらえております。

地方分権の時代を迎え、厳しさを増す財政環境下でありながらも、市町村の果たすべき役割と責任が、より重要度を増す中、一関市の市勢発展に向け、一層身を引き締め全力を傾注してまいります。

現在、わが国では、総人口は2004年をピークとして人口減少時代に突入り、かつ団塊の世代が定年退職期を迎えるという転換期の中で、国際化・グローバル化、情報化さらには価値観の多様化など大きな社会情勢の変化とそれに対応するための社会システムの改革期を迎えております。

また、人口などが地方から都市部に集中する動向が顕著になっており、こ

れが相対的に地方の過疎化や高齢化に拍車をかけるとともに、地方の活力低下と格差がさらに拡大する状況にあります。

このような時だからこそ、地方において活力と魅力のある地域社会を形成するためには、将来の地域社会のあるべき姿を見据えつつ、従来の発想や価値観にとらわれない新しい視点、角度で物事を考え、自己決定、自己責任の下自らの選択で特性を生かしたまちづくりに取り組むことが肝要であります。

昨年末に示された国の平成19年度予算案では、景気の持続拡大傾向などを反映し、大幅な増収が見込まれているものの、地方交付税の配分額ペースは、減少しております。

また、地域経済上昇の足どりは、いまだ確かとは言いえない現況にあるとともに、三位一体改革に伴い国から地方に移譲された税源の偏在による一層の地域格差が懸念され、市の財政環境は厳しさと不透明さをより増しています。一方、市民の暮らしや生きがいに対する価値観の変化と多様化、さらには社会経済情勢の進展とその移り変わり

は、常に行政にそのあり方や行政ニーズを追求する役割とそれらに即応する責任が求められるものであります。

厳しさを増す財政環境下において、多様な行政ニーズの変化に対応していくためには、市町村は、住民に身近な行政サービスを担う最も重要な行政体という自覚と責任感を根幹に据えながら、健全財政の確保、行政ニーズの的確な把握、効率的、効果的施策の展開が不可欠であります。

従いまして、行財政改革を着実に実行するとともに、適時的確な行政情報の提供と透明性の確保、市民が責任と意欲を持ち主体的にまちづくりに参加できる環境づくり、県事務の権限移譲など市民の視点に立った行政サービスの展開に努めてまいります。

12万5818人。平成17年国勢調査に基づく一関市の人口であります。今後さらに減少していくことが想定されます。

今後のまちづくりや地域の活性化を考える上で、人口の減少という、時代の趨勢を踏まえた取り組みも必要であります。

## 地域資源を生み育て 賑わいと活力あふれるまちづくり

第1に「地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり」の施策について申し上げます。

### 活力ある一関の農業の創造

農業については、平坦な地域や中山間地域の特性を生かした一関ブランドの確立および安全で質の高い農畜産物の安定生産確保、農業を担う人材・組織の育成など活力ある一関の農業の創造に向け、取り組んでまいります。

また、意欲ある担い手の育成と集落営農の組織化を図り、品目横断的経営安定対策制度の円滑な推進に努めてまいります。

さらに、農業経営指導員による経営力向上への取り組み、新規就農者支援、および地産地消の拡大など産地間競争に負けない農業農村の仕組みづくりと活性化に努めてまいります。

水田農業については、農業者の意識啓発に努めながら、消費者ニーズに定める安全・安心な特別栽培米の生産拡大を図ってまいります。

園芸作物については、野菜花卉生産振興事業により小菊、トマト、ナスなどの生産拡大を図るとともに、宅配事業などの展開により一関産物のPRと供給拡大に努め、ブランド化を推進してまいります。

畜産については、畜産担い手育成対



施政方針を述べる浅井市長

当市には、豊かな自然、誇れる歴史と文化があります。貴重な遺跡である骨寺村荘園遺跡の保存と利活用、さらにはいまだ潜在している文化、観光などのまちづくり資源の掘り起こしの促進を図るなど、「ふるさと いちのせき」を再認識しながら、さまざまな交流の活発化による元気なまちづくりを推進してまいります。

また、まちづくりはすなわち人づくりであります。自然やふるさとを愛し、他人を思いやり、生きる力がみなぎるたくましい子どもを育てることは、活力ある地域づくりの源であり、一関に暮らす誰もが生涯を通じて、学び、社会を構成する自覚と責任の中で、自己を実現できるまちが、住み良いまちになるものであり

策事業による草地造成や、優良素牛の導入による産地確立を図るほか、公共牧場の効果的な利用を図り、経営体質の強い畜産農家の育成に努めてまいります。

生産基盤の整備については、効率的な作業や地域ぐるみ農業の実現に向け、ほ場整備事業の推進に努めてまいります。

特にも、骨寺村荘園遺跡の景観保全農地整備については、採択に向け取り組んでまいります。

また、中山間地域等直接支払制度の活用や農地・水・環境保全向上対策事業により、農地などの多面的機能の確保を図るため、農地や農業用水路などに係る地域協同の保全体制づくりを進めてまいります。

林業については、民有林間伐等事業や森林整備地域活動支援事業を活用した森林の保全を推進し、森林の持つ水源のかん養など多面的、公益的機能の維持増進を図ってまいります。

### 若者の働く場の確保

工業については、今後の当市の工業振興の方向性を定めるため、工業振興



地域の特性を生かした一関ブランドの農業の確立に取り組めます(写真は一関地域本寺地区での稲刈り体験)

ます。次代を担う子どもの健全な成長は、よくむ教育の環境づくりを進めることはもちろんのこと、市民の多様な学習ニーズに応える環境づくりに意を配し

た教育立市の実現は、将来のわがまち一関の発展の基となるものと確信しております。

地方分権の推進は、自主自立のまちづくりの推進であります。

このことはそれぞれの

のまちやむらの特性、個性を生かした住みよいまちづくりの都市間競争であることとらえることができます。激しさを増す都市間競争を生き抜くには、しっかりとしましたまちづくりの目標を持ち、市民と行政が一緒になって取り組むことが肝要であります。

従いまして、市政運営に当たりましては、より一層、市民の参加と参画をいただきながら、総合計画の市の将来像とした「人と地域と地域が結び合い未来輝く、いちのせき」を目指し、総合計画に掲げた5つのまちづくりの目標実現に向け施策を推進してまいります。

次に施策の主なものを申し上げます。



高齢者の健康づくりを支援します  
(写真は川崎地域健康まつり)

計画を策定いたします。

また、岩手県南技術研究センターを活用し、地域企業の若手技術者の育成を支援するとともに、新たに貸し研究室を設置し、産学連携促進による地域企業の技術力向上に努めてまいります。研究開発工業団地の整備については、岩手県および岩手県土地開発公社と連携を図りながら、国道284号真滝バイパスおよび市道寺田下流通団地線と併せ、早期整備に努めてまいります。

また、既存工業団地の未分譲区画についても、販売を促進するなど積極的に企業誘致を進めてまいります。

雇用対策については、無料職業紹介事業の実施やパートバンクおよび若者の就業支援のためのジョブカフェへの相談員の配置など、就業の確保を図るとともに、関係機関、団体と連携しながら、雇用の安定に努めてまいります。

また、職業訓練施設を活用し就業者の技能の向上を図るとともに、求職者の就職を支援するための職業訓練事業を実施するなど、職業能力開発機会の充実を図ってまいります。

商業については、意欲ある事業者の育成と商店街を構成する個々の店舗の魅力向上を図るため、成功店モデル創出・波及事業を実施するとともに、中心市街地活性化基本計画の策定に向けた取り組みを進めてまいります。

また、中小企業振興資金の融資枠を拡大し、融資制度の充実を図ってまいります。

児童福祉については、次世代育成支援行動計画に基づき、子育て支援施策を推進するとともに、待機児童の解消、小児保育園の改築など保育の充実を図ってまいります。

また、障害児保育専門員を配置し、心身障害児を対象とした養育の充実にも努めてまいります。

交通安全については、関係機関および団体と連携し、交通安全運動を展開するなど交通事故防止に努めてまいります。

また、障害者などに配慮した歩道の段差解消、児童・生徒などの通学路の安全を確保する歩道整備および防護柵の設置など交通安全施設整備を進めてまいります。

防犯については、防犯灯設置費の支援や電気料を全額補助することともに、関係機関との連携により防犯意識の高

観光については、官民一体となって観光戦略を展開するため、観光振興計画を策定いたします。

また、栗駒山、厳美溪、猊鼻溪、室根山などの観光資源や各種イベントなどの地域情報をさまざまな媒体を通じて発信し、観光客誘致に努めるとともに、東北三県デスティネーションキャンペーンや仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに参画し、岩手県南および宮城県北との広域連携を図りながら、滞在型・体験型の魅力ある観光地を

### みんなので支え合い 共に創る安全・安心のまちづくり

第2に「みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり」の施策について申し上げます。

#### 子どもを生き育てる環境の充実

市民の健康づくりについては、自主的健康づくりの支援や健全な食生活のあり方を示した健康いちのせき21計画および食育推進計画の周知啓発による推進を図るとともに、市民健康講座、健康相談などの開催により、健康意識の高揚を図ってまいります。

各種健康診査やがん検診については、一次予防に重点を置き、また、疾病の早期発見、早期治療に努めるなど、市民自ら取り組み健康管理を支援してまいります。

子どもを希望し、特定不妊治療を受

目指してまいります。

物産については、関係団体の活動を支援するとともに、豊島区、品川区および姉妹都市三春町、友好都市吉川市、気仙沼市などでの物産と観光展などを通じた連携・交流の促進、産業まつりの開催など、地場産品の宣伝と販路拡大に努めてまいります。

都市計画については、今後のまちづくりの指針となる都市計画マスタープランの策定を磐井川堤防改修方針を見据えながら進めてまいります。

また、小児成人救急医療対策事業の実施など、救急医療、小児医療環境の整備に努めてまいります。

国民健康保険事業については、税金の確保に努めるとともに、温泉を利用した健康づくり事業などを通じて市民の健康増進に努めるほか、国保制度の周知や退職者の資格管理などによる医療費の適正化を図りながら、健全運営に努めてまいります。

高齢者福祉については、高齢者が自立した生活を送られるよう、地域包括支援センターと連携し、介護予防事業を開催するなど、高齢者の健康の保持に努めてまいります。

自然災害の防止については、一関地域大平山地区地滑り防止事業および鬼吉、白崎地区、千厩地域館山地区の急傾斜地崩壊対策事業を進めてまいります。

北上川上流改修一関遊水地事業については、磐井川堤防改修や第2・第3遊水地の小堤などの早期着工について、促進を要望してまいります。

さらに、一関遊水地下流部の狭隘地区の治水対策、砂鉄川河川激甚災害対

### 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり

第3に「人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり」の施策について申し上げます。

#### 教育立市の実現

活力あるまちとは、そこに暮らす人々が活気を持って生活できるまちといえます。

市民が、一関市民としての心のゆとりや豊かさが感じられる一関の文化を創造するとともに、市民一人一人が夢と希望を持つ生きがいのあるまちづくりが必要です。

教育は、人づくりの基本であるとともに豊かな地域づくりのためにも欠くことのできないものであります。

心の大切さや人としての生き方が見失われがちな今日、これらの確立こそがこれからの社会を支えていく上で最も大切であると考えられております。



地域企業の技術力向上に努めます  
(写真は2月21日行われた企業情報交換会)

また、今後増加が予想されるひとり暮らし高齢者や認知症の高齢者が、住み慣れた身近な地域で生活が送られるよう、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスを推進するとともに、老人クラブ活動への助成を通じて、高齢者の生きがいづくりの活動を支援してまいります。

障害者福祉については、適切なサービス利用を促進するとともに、障害者が施設から地域社会で自立した生活が送られるよう、グループホームなどの整備を支援するほか、障害者就労生活支援センターの運営助成により、障害者の就労を支援してまいります。

また、利用者負担軽減、事業者に対する運営支援を図るとともに、地域生活支援事業においても、国の制度との整合を図りながら、引き続き利用者負担の軽減策を実施してまいります。

策特別緊急事業についても促進を要望してまいります。

また、本年は、カスリン台風から60年を迎えることから、未曾有の災害を風化させることなく後世に伝え、防災意識の高揚を図るとともに、治水事業の早期完成に向け、カスリン・アイオン台風60年事業を行い、市民と一体になって安全安心なまちづくりに努めてまいります。

私は、まちづくりの理念の一つに教育立市を掲げておりますが、その実現に向け、学校教育のみならず生涯学習の充実や文化振興、スポーツ・レクリエーションの振興など諸施策の展開を支援してまいります。

学校教育施設については、一関小学校の耐震補強工事など学校の耐震化の推進、内野小学校と大原小学校の統合学校の整備、平成20年4月の開校を目指した弥栄中学校と真滝中学校の統合学校の整備など安全で安心して学べる教育環境の整備や大東地域と東山地域を統合した学校給食センターの整備を進めてまいります。

青少年健全育成については、一関市要保護児童対策地域協議会を中心とし、関係機関の連携をより密にししながら相談機能の強化に努め、児童虐待の早期発見と防止に努めてまいります。



生涯学習や文化振興を支援します  
(写真は東山地域の岩ノ下獅子舞保存会)

## 人と情報が活発に行き交う ふれあいと連携のまちづくり

第4に「人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり」の施策について申し上げます。

### 交通ネットワークの整備

国・県道の整備については、国道284号の真滝バイパスと清田地区、国道343号大原バイパス、主要地方道一関北上線の整備促進に努めてまいります。

また、国道4号一関大橋以南の4車線化、国道284号室根バイパス整備、国道342号の国道4号大槻交差点から金沢地区に至る区間の路線変更、花泉バイパス、主要地方道一関大東線生出・流矢地区の整備についても要望し

男女共同参画については、いちのせき男女共同参画プランの円滑な推進に向け、男女共同参画推進本部による計画の進行管理および関係機関などの連携と市民の意識啓発を図ってまいります。

骨寺村荘園遺跡については、適切な景観保全に向けた農業基盤整備、遺跡を構成してきた農業形態などの保全とそれらを維持する仕組みづくりに努めるとともに、その活用を図ってまいります。

なお、具体の教育行政については、教育委員長より申し上げます。

てまいります。

さらに、一関・気仙沼間を結ぶ地域高規格道路の建設や近隣生活圏との交通ネットワーク整備のため(仮称)栗原北上線の県道昇格についても、関係市町と一体となって要望してまいります。

市道の整備については、国・県道整備との整合を図り、金沢線、清水原一関線、大原洪民線、石堂構井田線など地域と地域を結ぶネットワーク網の整備を図るとともに地域の生活道路の整備を進めてまいります。

街路の整備については、一ノ関駅東口へのアクセス向上を図るため、駅東東工業団地線および駅前堀線の整備を進めてまいります。

事業者、行政の協働による循環型社会の構築に向けた取り組みを推進してまいります。

また、騒音・振動、ばいじんなどの測定を実施してまいります。

ごみの減量化、資源化については、生ごみ減量機器等購入への助成、自治会、PTAなどによる有価物回収活動を支援し、資源の有効活用の意識の啓発を図ってまいります。

また、ごみ問題対策巡視員と連携し、市民との協働による分別収集、ポイ捨てのないきれいなまちづくりの意識の啓発に努めてまいります。

市営住宅については、適切な維持管理に努めるとともに、住宅政策基本計画に基づき、既存住宅の有効活用も含めた住宅政策推進計画を策定してまいります。

また、市営山谷住宅において建て替え事業を引き続き進めてまいります。



ごみ減量化、資源化の活動を支援します  
(写真は室根地域の有価物回収活動)

個人住宅については、木造住宅耐震診断事業を引き続き実施するとともに、新たに耐震改修助成事業を創設し、耐震化の促進による市民の住環境向上に資してまいります。

景観については、市域における良好な景観の形成に向けて、景観計画の策定を進めるとともに、市民意識の啓発に取り組んでまいります。

公園については、千厩地域の駒場スポーツ交流公園、一関水辺プラザ多目的広場へのグラウンドゴルフコースの整備を進めてまいります。

水道未普及地域の解消については、厳美・秋荘・真滝・弥栄・舞川・興田・磐清水・奥玉・小梨簡易水道事業を引き続き推進してまいります。

また、老朽管などの更新を推進するとともに、大原簡易水道に係る配水池の築造など飲用水の安定供給に努めてまいります。

また、中央町地区の街路整備の促進を図り、安全で快適なまちづくりや、市街地における交通渋滞の解消に努めてまいります。

公共交通については、市民の移動手段としての役割を踏まえた持続可能なバス交通システムの構築への検討を進めてまいります。

情報基盤の整備については、公共施設間光ファイバー網を整備し、行政情



地域と地域を結ぶ市道の整備を進めます(写真は千厩地域の国道456号と284号を結ぶ市道石堂構井田線)

## 水と緑を守り育み 自然と共生するまちづくり

第5に「水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり」の施策について申し上げます。

### 良好な環境と景観の形成

環境施策については、環境基本条例の基本理念に基づき、施策の統括的内

汚水処理対策については、磐井川流域一関公共下水道事業、花泉、大東川崎地域特定環境保全公共下水道事業、千厩、東山地域単独公共下水道事業による管路整備を進めるとともに、新たに川崎浄化センターを供用開始し、千

### 市民とのパートナーシップで 活力あるまちづくりの推進を

以上、分野別施策の主なものを申し上げますが、活力あるまちづくりの推進には、まちづくりの目標を市民と行政が共有するとともに、市民主体の地域活動と自主的参加が不可欠であります。

このため、総合計画にうたうまちづくりについての講演会の開催など、市が定めた各種計画の市民周知啓発による共通理解の促進および情報の市民への正確、迅速な提供に努めるとともに、審議会などへのまちづくりスタッフバンク制度の活用、市長へのメッセージなど市民の声をまちづくりに反映させる機会の充実、さらには地域の特色を生かした自治会活動、市民の自主的地域づくり活動等の支援など市民とのパートナーシップによるまちづくりを進めてまいります。

広域行政については、住民の日常生活の結びつきの強い平泉町、藤沢町と両磐地区広域市町村圏計画策定の検討

報化を推進するとともに、民間事業者によるブロードバンドゼロ地域解消や携帯電話不感地域の解消への取り組みを促進してまいります。

### 市民の地域づくり活動の支援

市民の地域づくり活動については、市民の一体感の醸成や、人材の育成、産業の振興などに資する事業など、地域や民間が取り組む先導的な事業を地域おこし事業により支援し、活力ある地域づくりを促進してまいります。

また、地域おこし事業実施団体間の連携促進などにより、活動の継続、広がり、活発化を図るとともに、特に若者が主役の地域おこし活動を喚起し、交流の促進と地域の活性化に努めてまいります。

さらに、市民憲章推進協議会の活動促進などまちづくりの市民の心よりどころとして制定した市民憲章および市民歌の普及により、市民意識の啓発に努めてまいります。

容を定める環境基本計画の策定を進めてまいります。

環境保全については、河川の水質の把握に努めるほか、公共用水域浄化モデル事業など市民主体の取り組みへの支援や自然観察会などの環境教育活動により意識啓発を図るとともに、市民、

既浄化センターの建設に着手いたします。

また、供用開始区域内の未接続世帯の水洗化を促進するとともに、農業集落排水施設の適正な維持管理や浄化槽の設置助成などを進め、公共用水域の水質改善を図ってまいります。

を進めるとともに、岩手県後期高齢者医療広域連合組織による高齢者医療の安定確保、岩手県南宮城県北市町との連携による観光振興などに取り組んでまいります。

また、本市とゆかりのあるまちとの交流を一層深めてまいります。

行財政運営に当たりましては、市民の視点に立ち、集中改革プランの着実な実行、収納率の向上、高利率市債の繰り上げ償還などによる健全財政の確保および情報公開による透明性の向上、市民ニーズの把握、職員の意識改革と政策形成能力の向上、政策評価システムの構築に努めるとともに、日常の事務事業執行に当たっても、絶えず行政サービスの向上と効率的・効果的執行、経費の節減に心掛けるなど、常に市民福祉の向上を最大責務とし、行政運営に努めてまいります。

私は、「市政は市民のために」をモットーに、すべての情熱を市民福祉の向上に捧げ、市政を担ってまいります。

市議会議員各位ならびに市民の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

# 人を育み文化を創造する学びのまちづくり

北村健郎教育委員長が2月20日、第10回市議会定例会で述べた教育行政施策の概要をお知らせします。



北村健郎教育委員長

第10回市議会定例会の開会に当たり、平成19年度の教育行政施策について申し上げます。

今日の教育を取り巻く状況を見ますと、いじめや不登校、学力水準の低下などさまざまな課題が深刻化してきているとともに、国においては教育制度のあり方も議論されるなど、地方教育行政は大きな曲がり角にきており、

市町村教育委員会としても、新しい考え方が求められているととらえているものであります。

このような中で、市教育委員会といたしましては、ただ今申しました諸課題の解決に向けてなお一層努力を怠りませんように、市民一人一人が夢と希望を持って新しい時代を自ら切り開き、心のゆとりや豊かさが感

じられるよう、人をはぐくみ文化を創造する学びのまちづくりを進めるため、学校教育と生涯学習の充実、また、スポーツの振興など、各種行政施策を進めてまいります。

## 学びの場の環境を整備

まず教育環境の整備でありますが、今年18年度から、多様な学習に対応できる施設づくり、地域特性を生かした施設づくり、自然環境の有効活用を図った施設づくりなどに配慮して、弥栄・真滝統合中学校の建設に着手しておりますが、20年度の開校に向け、引き続き工事を進めるほか、内野小学校と大原小学校の統合整備に着手してまいります。



安全でおいしい給食を提供します  
(写真は花泉地域の油島小学校)

次世代を担う子どもたちが安心して学べる環境を整えるため、耐震診断の調査結果に基づき、一関小学校の校舎耐震補強工事をはじめ、他の学校にありましても、危険度を勘案し計画的な耐震補強工事に向けての実施設計を実施するなど、子どもの学びの場の安全確保に努めてまいります。

域の小中学校に給食を供給する学校給食センターの建設工事を進めてまいります。

学校教育につきましては、「確かな学力」と「豊かな心」を育てる教育を基本目標とし、学習指導専門員による学力向上指導・支援の充実と「わかる授業」づくりを推進するほか、市内全中学校の2年生を対象に、長期社会体験学習の実施、さらには、学校不応や障害のある児童生徒に適切な助言指導を行うため、教育相談員、特別支援コーディネーター、学校サポーターによる教育相談、特別支援教育の充実に努めてまいります。

## 骨寺村荘園遺跡を保存整備

平泉文化の世界遺産登録につきましては、昨年12月、世界遺産登録推薦書がユネスコに正式受理されましたが、今後はイコモスによる現地調査が行われ、順

調に推移すれば、平成20年夏ごろに世界遺産に登録されることとなりますので、価値ある骨寺村荘園遺跡を後世に守り伝えるため、地元住民との十分な話し合いや、専門家などの意見を踏まえ、必要な整備を計画的に進めてまいります。

成し、骨寺村荘園遺跡の素晴らしさを多くの方にPRするとともに、この遺跡の価値を正しく理解いただくための講演会や研修会を開催するなど、啓発活動にも一層努めてまいります。

協会が統合され、社団法人一関市体育協会となり、また、種目別協会も統合されます。教育委員会としましては、体育協会などとの一層の連携を図りながら、総合型地域スポーツクラブの設立育成支援などを行い、地域に根ざした生涯スポーツの推進に努めてまいります。

以上、新年度の教育行政施策の概要を申し上げますが、関係団体などの連携を図りながら、生涯にわたる市民の学習活動を推進し、効果的な生涯学習の展開に尽力してまいり所存でありますので、皆様方のご理解、ご支援、ご指導を心からお願ひ申し上げます。



# 「深いつながりがある骨寺村と中尊寺」

「骨寺村を語る会」に300人

本寺地区地域づくり推進協議会(佐藤武雄会長)、本寺地区区長会が主催する「骨寺村を語る会」は2月18日、本寺中体育館で催されました。地区はもとより市内外から訪れた約300人の

参加者は、世界文化遺産登録を目指す骨寺村荘園遺跡についてあらためて学ぶとともに、もち料理や郷土芸能など、地元の皆さんの温かいもてなしを楽しみました。

佐藤会長は「地域の皆さんにあらためて骨寺村荘園を理解していただきたいと、瑞山、小猪岡の皆さんの協力をいただき開催した。これを機会に今後の地域

のあり方を考え、世界遺産登録後の支援もお願いしたい」とあいさつ。市長代理で訪れた坂本助役と松川求県南広域振興局一関総合支局長が祝辞を述べた後、講演が始まりました。

市文化財調査委員の小野寺啓さんは「伝説の骨寺」と題し、地域に伝わる伝承の観点から講演。「中尊寺の荘園だった本寺は、天台宗の修行僧や修験者の『祈りの里』で、伝承が数多く残されている。『麗美宮』などの地名は、産鉄や鍛冶にかかわる古代信仰に由来するもので、これらに携わる人々が住んでいたことを伝える伝承では」と数十年にわたる

調査から導いた自説を述べました。

中尊寺西谷坊の菅原光中住職と菅原光聡さんは「骨寺村と中尊寺のつながり」と題し講演。光聡さんは「中尊寺経は中尊寺の宝。その中尊寺経を経済的に支えたのが骨寺だった」と話し、「中尊寺と骨寺のつながりはいつたん途絶えたが、これを機会に復活させたい」と結びました。

会場には地元の人々が1年間撮り続けた本寺の風景写真が展示されたほか、昼食には地区の女性手作りのもち料理や甘酒が振る舞われ、また、本寺中生徒による鶏舞や郷土芸能が披露される



上 昼食にはもち料理が振る舞われました  
下左 中尊寺西谷坊の菅原光聡さん  
下右 本寺中生徒が伝統の鶏舞を披露

など、参加者はさまざまな本寺に触れることができました。

は「骨寺」の意味をわかりやすく説明してもらい、良かったですね。機会があればまた参加したい」と満足そうでした。

# お知らせ

市役所 本 庁 ☎21-2111  
 花泉支所 ☎82-2211  
 大東支所 ☎72-2111  
 千厩支所 ☎53-2111  
 東山支所 ☎47-2111  
 室根支所 ☎64-2111  
 川崎支所 ☎43-2111

## 千厩アイスアリーナファイナルイベント「氷上長靴運動会」へ行こう

◇日時…3月25日(日) 9:00受け付け  
 ◇会場…千厩アイスアリーナ  
 ◇定員…32チーム  
 ◇内容…親子・友人など2人1組で行う運動会  
 ※詳しくは問い合わせください。  
 ◎申込先・問い合わせ先…千厩アイスアリーナ ☎52-4568

## イチゴたっぷり「オリジナルアイスデザート」を作ってみませんか

◇日時…3月28日(水) 19:00~21:00  
 ◇会場…一関勤労青少年ホーム  
 ◇対象・定員…市内に居住・勤務している勤労青少年(求職者を含む)。ただし、定員に満たない場合はどなたでも受講できます。先着18人  
 ◇受付期限…3月22日(木)  
 ◇参加費…500円(材料代)  
 ◇講師…佐藤祐子さん(ポラノアイス)  
 ◇持ち物…エプロン、三角きん  
 ◎申込先・問い合わせ先…一関勤労青少年ホーム ☎・FAX21-2144

## 景観まちづくりフォーラム

◇日時…3月21日(水) 13:00~16:00  
 ◇会場…川崎公民館大ホール  
 ◇入場料…無料  
 ◇内容…▶金野静一さん(岩手県文化財愛護協会顧問・前岩手県立博物館長)の講演「磐井地方の歴史と文化」▶本庁建築住宅課の景観計画策定事業紹介  
 ◎問い合わせ先…本庁建築住宅課

### 訂正

広報3月1日号8ページまちのトピックス「大きくなって帰ってきてね」に掲載した川崎保育園「須藤敏子園長」を「高橋かよ子園長」に訂正します。

市のホームページアドレス <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/>  
 ★テレホンサービスをご利用ください  
 市政だより(平日・土曜)・休日当番医案内(日曜・祝日) ☎21-1400  
 災害時の河川水位などのテレホンサービス ☎21-8899  
 一関文化センター催し物案内 ☎21-1000  
 一関文化センター自主事業案内 ☎21-1200

## 一関水辺プラザの整備についてのワークショップ(意見交換会)

◇日時…3月22日(木) 13:30~15:30  
 ◇会場…北上川学習交流館あいぼーと  
 ◇定員…先着30人  
 ◇受付期限…3月20日(火)  
 ◎申込先・問い合わせ先…本庁都市計画課  
 ※岩手河川国道事務所 ☎019-624-3198でも問い合わせに応じます。

## 市内在住の鈴木実君(中学1年生)が収集した鉱物コレクション展

◇期間…3月24日(土)~4月4日(水) 10:00~17:00(月曜休館)  
 ◇会場…太陽と風の家  
 ◇入館料…大人(高校生以上)300円、小・中学生200円  
 ※期間中、市内の小・中学生は無料  
 ◇その他…トークショー&化石採集を3月25日(日)10:00~14:00に開催します。前日までに申し込みください。  
 ◎申込先・問い合わせ先…太陽と風の家 ☎47-3655

## 本格的なマジックショーと簡単手品教室

◇日時…3月22日(木) 10:00~12:00  
 ◇会場…東山公民館  
 ◇対象…小学生(大人も大歓迎です)  
 ◇参加費…手品の道具代200円  
 ◎申込先・問い合わせ先…東山図書館 ☎47-2243

## 県障害者スポーツ大会出場選手募集

◇日時…6月2日(土) 9:00~16:00  
 ◇会場…県営運動公園陸上競技場など  
 ◇参加資格…19年4月1日現在満13歳以上で、▶身体障害者手帳の住所を市内に有する人▶知的障害者、精神障害者で市内に居住する人  
 ◇定員…▶身体障害の部72人▶知的障害の部65人▶精神障害の部25人  
 ◇受付期限…4月13日(金)  
 ※詳しくは問い合わせください。  
 ◎申込先・問い合わせ先…▶身体・知的障害の部:本庁社会福祉課障害福祉係 ☎21-8355または各支所福祉課 ▶精神障害の部:一関保健センター ☎21-2160

## 身体障害者補助犬利用者募集

県では、19年度に補助犬の利用を希望する人を募集しています。肢体・視覚・聴覚に障害がある人で、利用を希望する人はぜひ相談ください。  
 ◇申請書類提出期限…4月3日(火)  
 ◎相談先・問い合わせ先…本庁社会福祉課障害福祉係 ☎21-8355または各支所福祉課

## 赤十字奉仕団団員募集(花泉地域を除く)

◇活動内容…救急法などの研修会開催、献血活動の普及、福祉施設での活動など  
 ◇募集期間…3月16日(金)~30日(金) 平日8:30~17:15  
 ※電話で申し込みください。  
 ◎申込先・問い合わせ先…本庁児童福祉課福祉総務係または各支所福祉課

## 新「十二木橋」が開通します

16年度から架け替えを進めてきた同橋が完成し、開通式を行います。  
 ◇日時…3月28日(水) 10:30~  
 ◎問い合わせ先…東山支所建設課 ☎47-4526

## 早春の妖精「ミズバショウ・キクザキイチゲ」探勝会

◇日時…4月7日(土) 9:30受け付け  
 ◇集合場所…いちのせき健康の森  
 ◇参加料・定員…200円・先着20人  
 ◇用意する物…山野を歩ける服装と長靴、雨具など  
 ◇受付期限…4月5日(木)  
 ◎申込先・問い合わせ先…いちのせき健康の森 ☎39-2020

## 「ぼらんていあ塾」受講者募集

◇日時…3月21日(水・祝) 10:00~15:30  
 ◇会場…総合福祉センター(城内)  
 ◇定員…先着20人  
 ◇内容…講話、体験、ワークショップ  
 ◇受付期限…3月16日(金)  
 ※昼食は持参ください。また、駐車場は各自で確保してください。  
 ◎申込先・問い合わせ先…一関市社会福祉協議会 ☎23-6020

# スポーツ施設・公民館の管理など協議、意見報告

地域協議会

7つの地域協議会が2月1日から8日にかけてそれぞれ行われ、市長から意見を求められた事項について慎重に審議し、結果を市長に報告しました。

項目と市長に報告された意見の主なものは、次のとおりです。

◎スポーツ施設の廃止および管理運営について(全地域)、一関市公民館の管理運営について(大東、千厩、東山地域)▽老朽化などに伴い中具山キャンプ場(関を廃止するほか、一部施設を、施設の利用実態や管理形態などを考慮し、公民館施設として移管▽利用期間および利用時間を施設の種別により統一し、さらに利用時間を市民の利便性向上のため延長▽使用料利用料金について従来の使用料を基に調整、体系化し1時間当たりの使用料に統一。平日、土日、休日の区分の廃止や学生の取り扱いを「高校生以下」に統一し、など

◎一関勤労青少年ホーム、一関市女性センターおよび一関文化センターに係る指定管理者制度の導入について(一関地域)

◎指定管理者は公募を基本として選択肢の幅を広げること、指定管理者決定までの事務の透明性確保を

◎辺地に係る公共施設の総合計画(案)について(一関、千厩、東山、室根地域)▽小猪岡、長倉以上一関、小梨千厩、横沢東山、大森(室根)の各辺地に係る市道などの公共的施設の総合整備計画(案)の策定

◎施設の廃止、休止について(大東、東山、室根地域)▽猿沢診療所、洪民出張所(大東、東山勤労青少年ホーム、東山畜産センター)以上東山、室根村畜産センター(室根)の廃止および京津畑保育園(大東)の休止

◎障害者への料金面での配慮を

◎各施設の利用期間、利用時間は地域の実情を考慮すべき

◎減免についてはこれまでと同様に制度を堅持してほしい

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見

◎報告された意見



2月8日に開催された千厩地域協議会

# 水かけ祭り用風呂 参加者に好評

大東地域の東山町地活性化自治会連合会(小島文男会長)は、(財)自治総合センターのコミュニケーション助成事業を受けて、「水かけ祭り用風呂を整備しました。風呂は強化プラスチック製の組み立て式。2月11日の大東大原水かけ祭りで大原公民館敷地内に設置され、多くの参加者が祭り後の冷えた体を温めました。風呂の整備を機に、今後祭りが一層盛り上がり、街の活性化



一度に約30人が利用できる大きな風呂が整備され、参加者に好評を得ました

につながついていくものと、関係者に大きく期待されています。

保険料の納付におトクな『前納』制度を利用ください

19年度の国民年金保険料は、18年度より240円増えて月額1万4100円になります。

口座振り替えを利用した早割については2月15日号でお知らせしましたが、現金納付でも一年分や半年分を前納すると、年間で保険料が最大3000円も割引されます。

また、当月分以降であれば、希望する月からの前納も可能です。

現金での前納を希望する場合は専用の納付書が必要です。詳しくは問い合わせください。

◆納付方法別割引金額表

納付方法		年間保険料	割引額	種類
毎月納付	現金納付	16万9200円	—	
	口座振り替え	16万9200円	—	
	口座振り替え早割	16万8600円	600円	早割
半年前納	現金納付	16万7820円	1380円	前納
	口座振り替え早割	16万7280円	1920円	早割+前納
一年前納	現金納付	16万6200円	3000円	前納
	口座振り替え早割	16万5650円	3550円	早割+前納

※半年前納の金額は、4～9月分(納付期限5月1日)と10～3月分(納付期限10月31日)の年2回に分けて前納した場合の合計金額です。

※現金納付による一年前納の場合の納付期限は5月1日です。なお、19年度分の口座振り替え早割の申し込みは終了しました。

◎問い合わせ先…一関社会保険事務所 ☎23-4246

固定資産課税台帳の縦覧は4月2日から

固定資産課税台帳の縦覧は、固定資産税の課税にあたって、所有者に土地や家屋などの内容と評価の適正さを確認いただく制度です。

縦覧できる人は、所有者または代理の人(委任状が必要です)。

◆期間…4月2日(月)～5月1日(火) 8:30～17:15

※土曜、日曜、祝日を除く。

◆会場…本庁1階税務課資産税係または各支所市民課税務係  
※縦覧する場合、印鑑が必要です。また、この期間の閲覧手数料は無料です。詳しくは、4月1日号でお知らせします。

◎問い合わせ先…本庁税務課資産税係 または各支所市民課税務係

軽自動車の名義変更・廃車の手続きをお忘れなく

軽自動車税は4月1日現在で軽自動車を所有している人に課税されます。これらの車両を新しく取得したり、名義や住所を変更、廃車などをした場合は、速やかに手続きをお願いします。必要なものを事前に確認の上、それぞれの手続き場所にお出かけください。手続きをしないと、前の所有者に課税されます。

なお、以前に軽自動車を廃棄したが、廃車手続きが遅れている場合は、廃棄した事実がわかる書類などの提示で、課税されない場合がありますので、問い合わせください。

車種	手続きする場所・問い合わせ先
原動機付自転車(124cc以下のバイク)・小型特殊自動車(農耕用など)	本庁税務課諸税係 ☎21-8241 または各支所市民課税務係
軽自動車(125～249ccのバイク・三輪・四輪)	一関地区交通安全協会 ☎23-5264 または東磐井地区交通安全協会 ☎52-2343
二輪の小型自動車(250cc以上のバイク)	東北運輸局岩手運輸支局 ☎019-638-2154

一関勤労青少年ホーム春の前期講座受講生募集

講座名	定員	日時	回数	講師	経費など
いけばな(池坊)	10	4月9日～第2・4月曜	10	間室聰子さん	1回1200円程度 花器・花ばさみ
陶芸	15	4月3日～第1・3火曜	12	小山澄江さん	材料費若干 エプロン・筆記用具
花ラビ&香のボクシング フラワーアレンジメント	20	4月4日～第1・3水曜	9	菅原ユウ子さん	材料費若干 専用はさみ
書道	10	4月6日～第1・2・4金曜	13	小嶋東鞠さん	書道用具

◆時間…いずれも19:00～20:30

◆会場…陶芸は山目公民館、その他は一関勤労青少年ホーム

◆対象…原則として市内に居住または勤務する勤労青少年(求職中の人を含む)。ただし、定員に満たない場合はどなたでも受講できます(募集の結果、希望者が少ない講座は開催しない場合があります)。

◆受付期限…3月27日(火)

◆受講料…無料(ただし受講生は自治会費1000円を負担いただきます)

◎申込先・問い合わせ先…一関勤労青少年ホーム

☎・FAX21-2144(平日13:00～21:00)

2月の入札結果

入札日	入札件名	予定価格	入札金額	入札回数	落札業者	入札担当
2/6	室根中学校調理実習台購入	279.8万円	240万円	1	(有)菊池教材社	室根
2/13	岩手県知事および岩手県議会議員選挙ポスター掲示板	369万円	292.032万円	1	(株)小彌太	一関
2/15	普通乗用車(RV車)	216万円	166万円	1	岩手三菱自動車販売(株)いちのせきインター店	一関
2/15	芦東山記念館備品事務用家具	216万円	113万円	1	大里屋商店	大東
2/20	空気呼吸器用高圧空気ポンプ	288.9万円	283.5万円	1	(有)文林商会	一関

※広報に掲載するものは、競争入札にかけられたもののうち、▶工事:予定価格3000万円以上▶物品購入:予定価格200万円以上のものです。

◎問い合わせ先…本庁総務課契約係 ☎21-8223 ホームページ<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/>